

チャム新駐日エチオピア大使が着任

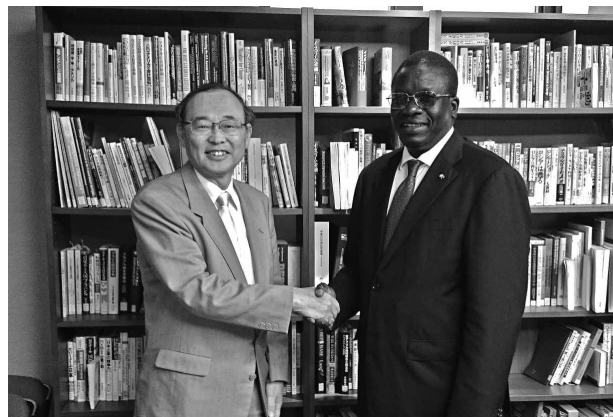
エチオピア連邦民主共和国大使館

今年 8 月にケニアの首都ナイロビで、アフリカで初のTICAD開催が予定され、日本企業のアフリカへの関心が高まるなか、チャム・ウガラ・ウリヤトゥ新駐日エチオピア大使が着任した。チャム大使は、在ウガンダ大使、在ガーナ大使、外務省総括監察官などを経て、在日本大使として 2 月第 1 週に来日し、4 月 18 日に信任状を奉呈した。

エチオピアは、過去 12 年間の平均経済成長率が 11% と急成長を遂げている。人口は 9400 万人、アフリカで 2 番目に多く、若年層・生産年齢人口が 6 割を占めており、国内市場のポテンシャルが高い。また、米国の AGOA（アフリカ成長機会法による免税品目の拡大）、EU の EBA（武器以外すべての品目を無税化）により、欧米へのビジネス展開にベネフィットが大きい。

昨年 4 月には、エチオピア航空が、日本からアフリカへ唯一の定期便である成田－アディスアベバ線の週 3 便運行を開始した。また、スエズ運河経由で欧州へのアクセスもよいなど、地理的な優位性がある。

エチオピアは近年、2 桁成長を維持するため工業化に重点を置き、アフリカにおける製造業のハブを目指している。特に農産品加工、衣料、皮革製品など軽工業を重点産業とし、日本の協力によりカイゼンも導入、着実にコスト削減、生産性向上が進んでいる。



左：JOI 近藤理事長、右：チャム大使

工業団地の整備にも力を入れ、IPDC（工業団地開発公社）は、2016～25 年で 10 万ヘクタールの用地を開発する予定であり、近い将来、日系企業専用の工業団地建設も検討している。

エチオピア大使館と海外投融資情報財団（JOI）は、昨年 3 月に日本企業のエチオピア向け直接投資促進を目的とした覚書を交わし、前大使による JOI 機関誌への寄稿やセミナー開催など、良好な協力関係を構築してきた。

お問い合わせは、駐日エチオピア連邦共和国大使館（E-mail: info@ethiopia-emb.or.jp, Tel: 03-5420-6860, URL: www.ethiopia-emb.or.jp）まで。

Industrial Park Projects

Name of Parks	Site & Location from Addis Ababa	Land size in ha	Clusters	Status
Bole Lemi I	Addis Ababa	156	Apparel	Fully subscribed
Hawassa	South 275km	300	Textile & Apparel	
Dire Dawa	East 473km	1500	Textile & Apparel, Food Processing, Assembly	Currently being promoted
Kombolcha	North-East 380km	700	Textile & Apparel, Food Processing	
Mekelle	North 760km	1000	Textile & Apparel, Food Processing, Assembly	
Adama	South-East 74km	2000	Textile & Apparel, Food Processing	
Bole Lemi II	Addis Ababa	186	Textile & Apparel	Planned for post 2016
Kilinto	Addis Ababa	337	Food Processing, Pharmaceutical, House Appliance, Electronics & Electrical	
Bahir Dar	North-West 578km	1000	Textile & Apparel, Food Processing	
Jimma	South-West 346km	500	Textile & Apparel, Food Processing	